

犯罪白書

犯罪白書の歴史

犯罪白書は、我が国における犯罪動向と犯罪者処遇の実情を明らかにする目的で、昭和35年4月に法務省から刊行されて以来、平成22年4月現在までに合計50冊が刊行されている。近年においては、毎年だいたい10月～11月頃に発行されている。

法務省が毎年の閣議で犯罪白書を発表し、この報告を元に、各省庁等が治安対策を考案している。

犯罪白書の内容

犯罪白書の内容は、それぞれの時代における犯罪情勢と犯罪者処遇の実情の報告、及び刑事政策上問題となっている事柄が紹介されている。

具体的には、各種犯罪者の動向と処遇、少年非行の動向と非行少年の処遇などについて詳細が書かれており、刑法犯に関する主な統計データや犯罪被害に関するデータなどの統計資料も充実している。

また、毎年「副題」があり、近年の副題は、「平成17年 / 少年非行」「平成18年 / 刑事政策の新たな潮流」「平成19年 / 再犯者の実態と対策」「平成20年 / 高齢犯罪者の実態と処遇」「平成21年 / 再犯防止施策の充実」などとなっている。これを見ると、近年「再犯防止」が重要視されていることがわかる。

平成21年の犯罪白書における特集では、最近の再犯の実態や再犯者の傾向等を各統計資料に基づいて分析するとともに、窃盗及び覚せい剤事犯者に関する特別調査を実施し、執行猶予者の再犯のリスク要因の分析や受刑にまで至った者の問題性の類型的分析等を踏まえた上で、今後の再犯防止対策の展望が述べられている。

犯罪白書の入手方法

書店で注文する

一般の書店やインターネット書店でも注文することが可能である。

なお、平成21年度版は大型本(29.6×21×1.8 cm) 305 ページで定価は3,000円である。



また、平成13年版犯罪白書から、本文・図表の全てを収録したCD-ROM版が付録となっている。

(出版社: 時事通信出版局)

法務省に問い合わせる

法務総合研究所 研究部 電話: 047-382-1013

インターネット上で閲覧する

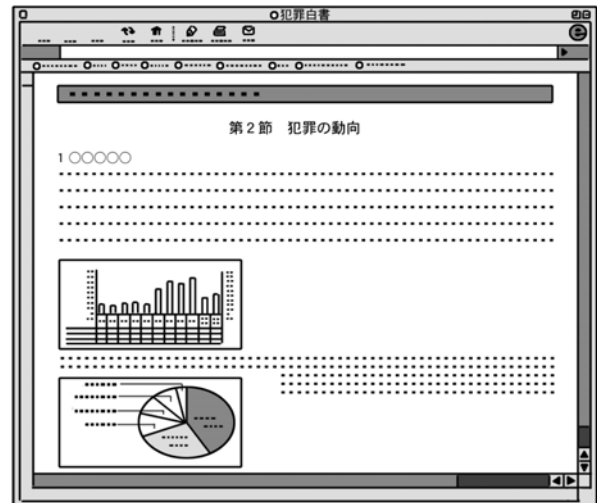
法務省のホームページで、過去の犯罪白書のすべてを閲覧することができる。

○各年度版のあらましや、副題一覧がある

http://www.moj.go.jp/housouken/housou_hakusho2.html

○各年犯罪白書の内容をすべて閲覧できる

<http://hakusyol.moj.go.jp/>



犯罪白書に関連する白書

○警察白書(→p.26)

日本における警察活動に対して、広く国民の理解を得るために、警察庁が毎年刊行している白書。その時代の社会背景と、犯罪発生状況や動向などの実態、警察が講じている様々な対策や取り組みを知ることができる。

参考URL: <http://www.npa.go.jp/hakusyol/index.htm>

○犯罪被害者白書

毎年、内閣府が国会に提出する年次報告書。犯罪被害者等基本法の規定に基づき、政府が講じた犯罪被害者等のための施策等について知ることができる。

参考URL: <http://www8.cao.go.jp/hanzai/whitepaper/index.html>